

「どろ亀さんとニコルさん追悼展」 in みちのく民俗村

教育活動支援（学校など）

投稿者：：

Posted on : 2023-9-26 11:10:00

昨年、富良野と札幌で開かれた「どろ亀さんとニコルさん追悼展」が、2023年10月14日から岩手県北上市みちのく民俗村で開催されます。

岩手県はどろ亀さんの故郷であり、平成4年秋に開村したみちのく民俗村でどろ亀さんは村長として、そしてニコルさんは村民第1号でした。どうぞお気軽にご来村のうえ、展示会場にお運びください。

民俗村まつりの詳細はみちのく「みちのく民俗村」公式ホームページや北上市役所ホームページ等をご覧ください（未掲載の場合はしばらくお待ちください）。

会期 2023年10月14日(土)～10月29日(日)

9時～17時

会場 岩手県北上市立花14-62-3 みちのく民俗村園内

入場無料

みちのく民俗村

初代村長 村民第1号、ガードマン赤鬼さん
どろ亀さん × C.W. ニコルさん 展

懐かしい初代村長とニコルさんの
願いは、森や自然環境への気づき、
好奇心のもととなる「心のタネ」を
まくことでした。
民俗村からこのメッセージを
お届けします。

主催 株式会社展勝地 みちのく民俗村 協力 C.W.ニコル・アファンの森財団 東京大学北海道演習林
富良野市博物館 北上市立博物館

お問合せ **みちのく民俗村** 岩手県北上市立花14-62-3 0197-72-5067 michinoku.fv@gmail.com

みちのく民俗村

初代村長 村民第1号、ガードマン赤鬼さん
どろ亀さん × C.W. ニコルさん 展

会期 令和5年 10月 14日(日) ~ 10月 29日(日)
午前9時 ~ 午後5時

場所 みちのく民俗村園内
民俗資料館(田黒沢尻実科女学校)
旧今野家住宅 展勝地茶屋

内容 ■生い立ちや日々の活動などのパネル展示
■どろ亀さん、ニコルさんのDVD上映
■アファンの森グッズの販売



森の世界

森には、何一つ無駄がない

植物も、動物も、微生物も

みんな、つらなっている

一生懸命生きています

一種の生きものが、森を支配することのないように

神の定めた調和の世界だ

森には、美もあり、愛もある

はげしい闘いもある

だが、うつがない

詩集「どろ亀さん」より

無心

原生林の奥の奥

倒れた大樹のその上に

コケとキノコが絵を描いた

小さな小さなキノコたち

白とピンクの服を着て

秋のうす白を背にうけて

●どろ亀さん (1914 ~ 2002年)

高橋延清東京大学名誉教授。1938年、東京大学北海道演習林に着任。「森こそが教室」と現場主義を貫いた。豊かな森づくりをめざした「林分撫養法」(HPから無料でダウンロード可)は現在も継続中で、6つの原則から成り立っている。

定年退職後は全国各地で森づくりの指導に努め、広く一般に森の心を伝えつつ、植・育樹活動や自然環境保全への啓蒙を続けた。日本学士院エッジンバラ公賞、みどりの文化賞をはじめ受賞多数。著書は「詩集どろ亀さん」「樹海」など。

どろ亀さんとニコルさんについての詳細はホームページで!

どろ亀さんオフィシャル | <https://dorogamesan.com/>

●C.W. ニコルさん (1940 ~ 2020年)

作家、自然保護活動家、探検家。1962年に初来日。宮沢賢治の童話の英訳をきっかけに君子亭に親しんだ。1986年から長野県で放棄されていた森林の再生活動に取り組み、「アファンの森」と名付けたその面積は今なお広がっている。

2002年、私財を投じ(一部)C.W.ニコル・アファンの森財団を設立。東日本大震災後は子どもたちの心のケアに注力、東北島の木造校舎建設にも尽力した。名譽大英勳章はじめ受賞多数。著書は「勇魚」「風を見た少年」など。

C.W. ニコル・アファンの森財団 | <https://afan.or.jp/>